

臼杵市 施策評価シート

(令和5年度)

評価 担当課	課名 上下水道課
-----------	-------------

コード	VI-18-42	施策名	安全な水の管理・提供
まちづくりの 目標	社会基盤が整い、行動力ある市民が暮らすまち(社会基盤)		施策の方針 市民の暮らしと調和した生活空間を形成する
5年後の めざす姿	安心・安全な水を持続的・安定的に供給しています。水道施設の老朽化や地震、大雨、落雷などの自然災害に対応するため、計画的に水道施設の更新を行うとともに、漏水などのトラブルが発生した場合にも迅速に対応できる体制の構築を目指します。		
施策の課題	全国的な課題である水道施設・水道管の老朽化、耐震化対策は本市においても急務であり、アセットマネジメント更新計画に基づく施設等の更新や耐震化を進めなければいけません。また、広域連携による水道台帳整備や漏水調査等に着手していますが、経営戦略に基づく費用の抑制や財源の確保等にも取り組む必要があります。維持管理に苦慮している民営簡易水道については公営化、小規模給水施設には維持管理支援にも取り組む必要があります。		

<施策の進捗を測るものさし(指標) ~ 第2次臼杵市総合計画 後期基本計画>

新規 指標	指標名	指標の説明	指標数値の推移							
			単位	R1	R2	R3	R4	R5	R6	
	有収率	料金徴収の対象水量÷浄水場より水道管に送った水量×100(%)	目標	%	87.0	87.8	88.5	89.3	90.0	
			実績	%	86.3	86.3	87.1	86.0	84.7	
			達成率	%		99.2%	99.2%	97.2%	94.8%	
	配水池の耐震化率	各配水池のなかで耐震性がある配水池の割合	目標	%	18.5	19.1	19.8	20.0	21.0	
			実績	%	17.9	18.5	19.0	19.0	20.0	
			達成率	%		100.0%	99.5%	96.0%	100.0%	
			目標	%						
			実績	%						
			達成率	%						
			目標	%						
			実績	%						
			達成率	%						
			目標	%						
			実績	%						
			達成率	%						
			目標	%						
			実績	%						
			達成率	%						
指標の 進捗状況	概ね順調	指標の分析	安定的な水道水の供給に向けて計画的な漏水調査と調査結果に基づいた漏水修繕工事等に努めているものの、水道管漏水が多い年度もあり有収率が目標を達成していません。また、井村配水池耐震化更新事業について、造成工事が完了し配水池基礎工事等に着手することができており、計画的に配水池の耐震化が進んでいます。							
		指標達成に向け 今後の流れ	有収率や耐震化率の向上に向けて、今後も老朽管更新事業や水道施設更新事業に取り組むとともに、漏水調査に基づいた漏水修繕工事を着実に実施します。急務である耐震化事業は、まずは水道施設の整備を優先し水道管路も更新計画を策定し事業化することで、災害時の早期の復旧と安全安心な水の供給体制の構築に努めます。							

<市民意識調査結果 R6実施結果>

領域名	必要度	満足度	浸透度
向上領域	2.68	2.16	
向上領域	2.68	2.16	
過去の 調査結果 (領域)	令和3年度 向上領域	令和4年度 向上領域	令和5年度 向上領域

向上領域: 今後も現状のサービス水準の維持向上が望まれる領域
 強化領域: 満足度を高めるよう事業の強化が望まれる領域
 見直し領域: サービス水準が適正となっているか、見直しが必要な領域
 検討領域: 施策や事業のあり方や内容の検討が必要な領域

<施策を構成する主な事務事業一覧表>

事務事業名	事業内容	担当課	事業費(単位:千円) ※人件費含まない		評価シート作成の有無	課長評価			重点事項
			R4年度実績	R5年度実績		進捗状況	今後の方針	施策への貢献度	
1 上水道老朽管更新事業	漏水の軽減、維持管理の向上を図るために、老朽化した水道管の計画的な更新を行います。	上下水道工務課	75,470	93,598	有	概ね順調	向上	貢献度大	○
2 水道施設更新(耐震化)事業	上水道の安定した供給を図るため、老朽化した水道施設等の更新を行います。	上下水道工務課	60,604	63,698	有	概ね順調	向上	貢献度大	○
3 水道施設更新(耐震化)事業(井村配水池)	水道事業のアセットマネジメント更新計画に基づき井村配水池の更新工事を実施します。	上下水道工務課	196,365	149,874	有	概ね順調	向上	貢献度大	○
4 水道管路漏水調査	有収率の向上を図るため、上水道区域内の水道管漏水調査を行います。	上下水道工務課	1,408	3,302	無	—	—	—	
5 小規模給水施設整備事業	上水道区域外における地区営の給水施設の整備を実施します。	上下水道工務課	—	3,000	無	—	—	—	
6 簡易水道統合整備事業	民営簡易水道の公営化移行に向けた整備(委託・工事)事業を実施します。	上下水道工務課	—	6,380	無	—	—	—	
7									
8									
9									
10									
合計			333,847	319,852	※事務事業評価シートは対象となる要件を満たした事業のみ作成しています。				

<次年度以降の課題>

水道施設及び水道管の更新(耐震化)事業は、経営戦略やアセットマネジメント更新計画に基づき水道施設の更新を優先しながら基幹管路の耐震化も進める必要があります。特に管路の耐震化は、総合的な判断で管路更新計画の作成も検討する必要があります。また、民営簡易水道対策の公営化移行については、適正な維持管理のために資産調査等の事前準備が必要であり、小規模給水施設整備事業においても各地区と十分な協議が必要です。

施策の評価 (今後の施策の方向性)

- 評価の選択肢 ○ 向上 .. 現状の通り維持向上する ○ 強化 .. 現状より強化を図る
 ○ 見直し .. 現状を見直し適正化を図る ○ 検討 .. 現状の抜本的な検討を行う

<担当課評価> ... 評価者 担当所属長

担当課評価	評価の理由と次年度以降の取組
強化	水道は市民生活に一番身近なライフラインであり、水道施設の適切な維持管理に努めていることや漏水などのトラブル発生時の迅速な対応が、安心・安全な水の提供に繋がっており強化すべき施策と考えます。次年度以降の取組みとしては、まずは、アセットマネジメント更新計画を踏まえた計画的な水道施設及び水道管の更新(耐震化)事業の実施となりますが、特に井村配水池耐震化更新事業の早期の完成と福良配水池の耐震化更新事業の着手を目指します。民営簡易水道対策については、各地区と連携しながら公営化移行に向けた業務を進めます。また、小規模給水施設についても維持管理への支援や施設整備の補助に努めていきます。